

令和 3 年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

事 業 体 系

I. 事業計画の概要	(1)
II. 公益目的事業	(2)
III. 収益事業	(7)
IV. 管理	(8)
事業計画の内訳	(9)
1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)	(9)
(1)企画展覧会 ①たましん美術館	(9)
②たましん歴史・美術館	(10)
③たましん本店2階ギャラリー	(10)
(2)調査・研究・収集・保存	(10)
(3)美術講座・美術教育	(11)
(4)地域との連携	(12)
(5)広報・普及活動	(12)
2.『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)	(13)
(1)『多摩のあゆみ』の刊行	(13)
(2)刊行物の発行	(13)
(3)歴史資料室の運営	(14)
(4)多摩の歴史講座	(14)
(5)地域とのネットワーク強化	(14)
(6)「多摩金融史」関係資料の整理	(15)
(7)広報・普及活動	(15)
3. 物品販売事業及び喫茶事業(収1)	(16)
(1)物品販売事業	(16)

I. 令和 3 年度 事業計画の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、多摩地域で暮らす人々の生活をより豊かなものとするために美術や歴史に親しんでいただく機会の提供をすること、そしてその土壤づくりのための創作・研究を行う方々の支援を行うことを使命として、令和 3 年度の事業の計画・実施を行います。

令和 3 年度は、ここ数年間整備をしてきた事業実施のためのより良い環境づくりが一旦完了し、そのインフラを有効活用した事業を行うことにより、多くの人々に美術や歴史を愉しんでいただけるような事業展開を行います。

公1(美術館・ギャラリーの運営事業)については、昨年開館しました「たましん美術館」(立川市)をメインの館として企画展を4会期開催予定です。同館は今年度も文化庁の指導における「枯らし期間」中であり、地域に根差した美術館として「多摩」に関わる展覧会を開催します。また、併せて自治体や地域内の大学との連携事業、広く美術の愉しさを知っていただくためのイベントを開催します。

公2(『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業)は、例年通りの事業が中心ですが、広く財団の事業を知ってもらうためにホームページやデジタルアーカイブの活用、またコロナ対応で必要が生じたリモートによる講座など、一層のデジタル化に取り組みます。

令和 2 年度は新型コロナ禍により事業展開に困難が生じましたが、今年度についてもその状況が完全に解消されるという状況にはならないと想定しております。そのような環境下にあっても、当財団の持つコンテンツを提供し、多くの方に喜んでもらえるよう事業を実施してまいります。

II. 公益目的事業の事業計画概要

当財団の公益目的事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公1. 美術館・ギャラリーの運営事業(以下「美術」という。)

公2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(以下「歴史」という。)

1. 美術(公1)

(1) 企画展覧会

① たましん美術館

たましん美術館は、今年度4会期の企画美術展を開催します。

1) 「足跡 vol.2 所蔵品と新作から見える多摩の美術」

令和3年5月1日(土)～6月20日(日) 開館期間44日

前年度に行った所蔵作品と新作を並べた展覧会の第二弾です。絵画だけでなく、立体作品も交えて展示し、作家の作風の変化を楽しめます。

2) 「コレクションの礎(いしづえ) 一倉田三郎・佐藤多持・関頑亭一」

令和3年7月3日(土)～9月26日(日) 開館期間70日

多摩中央信用金庫に始まった「たましん」の文化事業。そこに大きく貢献いただいた洋画家倉田三郎、日本画家佐藤多持、彫刻家関頑亭の作品の魅力を紹介します。

3) 「新収蔵 小貫政之助展」

令和3年10月9日(土)～12月26日(日) 開館期間68日

激動の昭和生き抜いた画家小貫政之助。ご寄贈いただいた作品を中心に並べ、多摩で活動した小貫の生涯を振り返ります。

4) 「The Adventure of Prints 一版画の冒険」

令和4年1月15日(土)～4月3日(日) 開館期間64日

武蔵野美術大学版画研究室と共に開催する形で、同大学所蔵の版画作品を借用して、現代版画が芸術表現の可能性を模索してきた歴史を紹介します。

② たましん歴史・美術館

たましんコレクションによる常設展を3会期、開催します。各期、テーマを設定し、そのテーマに対応する作品を展示します。

1) 第1会期 令和3年5月22日(土)～8月29日(日)

2) 第2会期 令和3年9月11日(土)～12月26日(日)

3) 第3会期 令和4年1月15日(土) ~ 3月27日(日)

- ③ たましん本店2階「地域貢献スペース」ギャラリーの運営
たましん本店2階ギャラリーの展示計画、作家選定、展示作業の監督を行います。本件は多摩信用金庫からの委託事業です。

(2) 調査・研究・収集・保存

- ① たましん美術館の年報・紀要の作成
たましん美術館の活動の記録、所蔵作品・作家の継続的な研究成果を年報・紀要として作成します。
- ② 展覧会スケジュールの発行
今年度の展覧会スケジュールを作成し、配布します。
- ③ 資料・図書の収集
多摩地域に関わる重要な作家の資料や地域における美術に関する図書等を引き続き収集し、美術資料室にて閲覧に供します。
- ④ 作品の収集
たましん美術館、本店2階ギャラリー(地域貢献スペース)で展示をおこなった作家の作品を、寄贈・購入により収集し、コレクションを拡充していきます。

(3) 美術講座・美術教育

- ① ギャラリートーク(たましん美術館)
展覧会担当学芸員が、展覧会の趣旨・見どころ、作品解説を行います。
- 1) 「コレクションの礎 一倉田三郎・佐藤多持・関頑亭一」展
 - 2) 「小貫政之助」展
ともに、開催日時は未定
- ② トークイベント
「小貫政之助」展 スライドトーク
「小貫政之助」展会期中に、小貫政之助の生涯、画風、魅力等をスライドを使用して学芸員が解説するイベントです。
- ③ 体験型イベント
「The Adventure of Prints」ワークショップ
「The Adventure of Prints」展会期中に、版画の魅力を体験してもらう子供向けワークショップを行います。
- ④ 美術講演会
くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。昨年度は新型コロナの影響で本講座を開催出来なかつたことから、今年度も同じテーマで、「古代ギリシャの美術と文化」について

の3回講座を予定しています。

第1回 「エーゲ海文明の曙」

第2回 「アルカイック時代とオリンピック」

第3回 「クラシック時代とヘレニズム時代」

(使用会場が新型コロナウイルス感染症予防対応に使用予定のため、開催時期未定)

講師 斎藤陽一氏

(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」プロデューサー)

会場 ぐにたち市民芸術小ホール

募集人員 毎回 60名(延べ 180名) 受講料 無料

(4) 地域との連携

① 地域の学校との連携

1) 立川市立中学校生徒のたましん美術館見学

立川市内の市立中学校全校の1年生全員が「たましん美術館」を見学します。

本件は立川市教育委員会との連携事業で、作品鑑賞や美術館でのマナー等を指導します。

2) 多摩地域内の各校の美術館見学の受け入れ

多摩地域内の中学校からの美術館見学の要請について対応を行います。

本件についても、作品鑑賞や美術館でのマナー等の指導を行います。

② たましん美術館の周辺地区内施設との連携

たましん美術館の周辺地域にある、グリーンスプリングス、ファーレアート、昭和記念公園、国文学研究資料館と交流を図り、連携企画を行います。

(5) 広報・普及活動

① 美術館専用WEBサイトの構築

当財団が運営する3施設の情報発信のため、財団HP内の美術館専用サイトのコンテンツの充実を図ります。

2. 歴史(公2)

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

下記の通り、各号ごとに特集テーマを予定しています。

なお、『多摩のあゆみ』の発行日は、178号から15日を月末日に変更しました。

182号 「コロナ禍と向き合う博物館」(仮題)	令和3年5月31日発行
183号 「多摩の銭湯」(仮題)	令和3年8月31日発行
184号 「江戸東京と多摩」(仮題)	令和3年11月30日発行
185号 「東京、多摩ことばの移り変わり」(仮題)	令和4年2月28日発行

(2) 中島跡文書資料集の刊行

国立市在住の佐藤収一氏(株式会社サトウ 会長)が所蔵する中島跡(のぼる)文書資料を、越沢明北海道大学名誉教授の監修のもと、刊行物として発行します。

・「箱根土地株式会社と分譲地・学園都市 一常務取締役中島跡文書よりー」(仮称)

本書は令和2年度中に発行予定でしたが、新型コロナ感染症による作業工程の遅延発生により延期せざるを得ず、令和3年度の継続事業としました。

(3) 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、「多摩のあゆみ」の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。

(4) 多摩の歴史講座

(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。令和2年度は新型コロナ禍の影響で本講座を開催できなかったことから、今年度も同じ「デジタル地図を使って多摩の歴史を考える」をテーマとします。

会場は多摩信用金庫本店4階会議室を借用し、100名を募集します。ただし、新型コロナウイルス感染の拡大状況によっては、定員数を減らします。

受講料は無料です。

(5) 地域とのネットワーク強化

国文学研究資料館(立川市)、東京都立多摩図書館、東京都公文書館(ともに国分寺市)等との連携を更に深め、また市史編さん等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化します。

(6) 「多摩の金融史」関係資料の整理

『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は計 15 回となりました。

武藏野支店地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を、多摩金融史研究会の協力を得て更に進めています。

(7) 広報・普及活動

① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。 「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり 39～自治調査会だより～』に告知します。

② 『多摩のあゆみ』連載のデジタルアーカイブ化

『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像や PDF 本文を、毎号デジタルアーカイブで公開していきます。

III. 収益事業

1. 物品販売事業（収1）

(1) 物品販売事業

たましん美術館に併設のミュージアムショップでは、オリジナルのクリアファイル、スケッチブック、絵はがき、財団発行の書籍を販売します。

また、地域の作家の陶器や地域企業のグッズ、美術館仕様のバッグ等の委託販売を行います。

IV. 管理

1. 役員及び役員会等に関する事業(定款第4条第9号)

(1) 理事、監事及び評議員の任期

- ① 評議員 令和2年6月22日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ② 理事 令和2年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)
- ③ 監事 令和2年6月22日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで(改選期)

(2) 理事会等の開催

- ① 理事会 年3回
- ② 評議員会 年2回
- ③ 決算監査 年1回

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 7,890 千円)

(1)企画展覧会

①たましん美術館

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自 主・共 催	実 施 期 間	開 催 日 数		
1	足跡vol.2 所蔵品と新作から見える多摩の美術	自 主	令和3年5月1日(土)～6月20日(日)	44	前年度に行った「足跡1974-2020 所蔵品と新作から見える多摩の美術」の第二弾となる展覧会。絵画を中心に一部立体作品をはじめて、たましんの所蔵する旧作と、近年制作された新作を並べ、作家それぞれの作風の変化に注目する。	1,120
2	コレクションの礎(いしづえ)一倉田三郎・佐藤多持・関頑亭一	自 主	令和3年7月3日(土)～9月26日(日)	70	昭和49年に「たましん展示室」(後の「たましんギャラリー」)を開設した時から本格的に始まった、多摩信用金庫の文化事業。そこに深く関わり、金庫の活動を応援した洋画家の倉田三郎、彫刻家の関頑亭、日本画家の佐藤多持。たましんコレクションの成立にも深く関わった、この三人の作品を取り上げ、その魅力を紹介する。	1,160
3	新収藏 小貫政之助展	自 主	令和3年10月9日(土)～12月26日(日)	68	戦争という過酷な経験とともに、激動の昭和を生き抜いた画家小貫政之助に焦点を当てた展覧会。作家に縁のある方々からご寄贈いただいた作品を並べ、初期から晩年にいたるまでの生涯を振り返る。	2,950
4	The Adventure of Prints ー版画の冒険	共 催	令和4年1月15日(土)～4月3日(日)	64	武蔵野美術大学版画研究室と共に開催する形で、武蔵野美術大学所蔵の版画作品を借用し、現代版画が芸術表現の可能性を模索してきた歴史を紹介する。	640

②たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計　　画				計　　画	予算額
	事　業　名	自　主・共　催	実　施　期　間	開　催　日　数	事業内容及び説明	(千円)
1	たましんコレクション常設展Ⅰ	自主	令和3年5月22日(土)～8月29日(日)	85	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしづらった作品を選定し、展示する。	360
2	たましんコレクション常設展Ⅱ	自主	令和3年9月11日(土)～12月26日(日)	89	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしづらった作品を選定し、展示する。	360
3	たましんコレクション常設展Ⅲ	自主	令和4年1月15日(土)～3月27日(日)	60	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしづらった作品を選定し、展示する。	360

③たましん本店2階ギャラリー

計画事業 通し番号	計　　画			計　　画	予算額
	事　業　名	自　主・共　催	実　施　期　間	事業内容及び説明	(千円)
1	たましん本店2階ギャラリー運営	自主	通年	たましん本店2階ギャラリー(地域貢献スペース)の展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督を財団学芸員が行う。	200

(2)調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計　　画				予算額
	事　業　名	自　主・共　催	実　施　期　間	事業内容及び説明	(千円)
1	たましん美術館年報・紀要の作成	自主	通年	たましん美術館の活動の記録および所蔵作品・作家についての継続的な研究成果を年報・紀要にまとめる。	0
2	展覧会スケジュールの発行		通年	令和3年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行する。	290
3	資料・図書の収集		通年	多摩地域の重要な作家の資料、多摩地域の美術に関する図書等を引き続き収集する。	100
4	作品の収集		通年	たましん美術館およびギャラリー(地域貢献スペース)で展示を行った作家の中から、数点作品を購入し、コレクションの拡充をはかる。	150

(3)美術講座・美術教育

① ギャラリートーク

計画事業 通し番号	計 画			計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	「コレクションの礎ー倉田三郎・佐藤多持・関頬亭一」展 ギャラリートーク	自主	日時未定	展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行う。	0
2	「小貫政之助」展ギャラリートーク	自主	日時未定	展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行う。	0

②トークイベント ③体験型イベント

1	トークイベント 「小貫政之助」展スライドトーク	自主	日時未定	「小貫政之助」展会期中に、作家小貫政之助の生涯や画風の展開、画家としての魅力について、作品スライドを用いて、展覧会担当学芸員がトークイベントを行う。	0
2	体験型イベント 「The Adventure of Prints」ワークショップ	自主	日時未定	「The Adventure of Prints」展会期中に、版画の魅力を体験してもらう子供向けワークショップを行う。	0

④美術講演会

1	美術講演会	共催	日時未定	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全3回の講演を予定しています。 講演名 「古代ギリシャの美術と文化」 講師 斎藤 陽一氏(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」プロデューサー) 会場 くにたち市民芸術小ホール 募集人数 每回60名(延べ180名) 受講料 無料	100
---	-------	----	------	--	-----

(4) 地域との連携

① 学校との連携

計画事業 通し番号	計 画			計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	地域の学校との連携	自主	通年	立川市の全校中学生を対象に、たましん美術館において鑑賞教室を行う。	100

② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業 通し番号	計 画			計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	グリーンスプリングスとの連携	自主	通年	たましん美術館の周辺地区の施設との交流を図り、様々な連携企画を行っていく。	0
2	ファーレアートとの連携				
3	昭和記念公園との連携				
4	国文学研究資料館との連携				

(5) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	美術館専用WEBサイトの構築	自主	通年	財団が運営する、たましん美術館、たましん歴史・美術館、ギャラリー（地域貢献スペース）、この3つの展示施設の情報を広報するための、美術館専用WEBサイトのコンテンツの充実をはかる。 前年度からの継続。	0

2.『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 13,520 千円)

(1)『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自 主・共 催	実 施 期 間		
1	182号「コロナ禍と向きあう博物館」(仮題)	自 主	5月	世界的に流行している新型コロナウイルス感染症に、各機関はその対策に苦慮しています。多摩地域の博物館では来館者への対応をはじめ、過去の感染症に関する展示やオンラインによる情報発信に努めています。本号では各地の博物館がどのような対策や事業を実施したのか、その事例を紹介します(協力依頼:三多摩公立博物館協議会)。	10,520
2	183号「多摩の銭湯」(仮題)	自 主	8月	都市化の拡大の中で、昭和40年代に最盛期を迎えた多摩の銭湯も、廃業によって次第に減少し、各地の博物館で記録され、特別展などで紹介されています。その成果を踏まえ、多摩・東京の銭湯の歴史や現状、文化、地域の中でのあり方などを、近県との比較を交えつつ、考察、紹介します。	
3	184号「江戸東京と多摩」(仮題)	自 主	11月	東京都公文書館では、江戸時代から現代にかけての江戸・東京や多摩地域に関する各種資料(旧幕引絵図、行政文書、絵図・地図、写真・フィルムなど)を所蔵しています。これらの資料群を解き明かして、江戸・東京と多摩の関係を考察します。本号は、令和2年4月に国分寺市に移転してきた同館との連携事業になります。	
4	185号「多摩、東京ことばの移りかわり」(仮題)	自 主	令和4年2月	『東京都言語地図』(1986年)、『新 東京都言語地図』(2018年、2019年)の成果を踏まえ、多摩、東京のことばの音韻やアクセントの移りかわりと社会の変化との関わりを、具体的な言葉を取り上げつつ、考察します。	

(2)刊行物の発行

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自 主・共 催	実 施 期 間		
1	中島陟文書資料集の刊行	共 催	通 年	越澤明北海道大学名誉教授の監修のもと、佐藤収一氏(株式会社サトウ会長)が所蔵している中島陟(のぼる)文書資料を刊行物として発行します。協力者:渡辺彰子氏 書名:『箱根土地株式会社と分譲地・学園都市一常務取締役中島陟文書より一』(仮称) *令和2年度発行予定でしたが、新型コロナウイルス感染症のため作業工程を延期せざるを得なくなり、令和3年度の継続事業としました。	0

(3)歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間		
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・整理・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。 また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	1,850

(4)多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間		
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月(予定)	(公財)東京市民町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回連続の講座を実施します。コロナ禍のために延期となった令和2年度(第24回)のテーマ「デジタル地図を使って多摩の歴史を考える」を行います。 会場：多摩信用金庫府中支店 4階会議室(予定) 定員：100名(新型コロナウイルス感染拡大状況によっては定員数を減らします。) 受講料：無料	350
2	多摩の歴史講座のオンライン配信	自主	12月(予定)	上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信します。ホームページで受講者を募集して、名簿を作成し、期間を限定して配信します。	

(5)地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	
	事 業 名	自主・共催	実施期間		
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館(国分寺市)や東京都公文書館(国分寺市)などとの連携をさらに深め、また市史編さん等への協力を通じて、行政各機関とのネットワークを強化していきます。	
2	資料検索システムの横断検索	自主	通年	NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デボ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デボ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町村立図書館などと横断して検索できるようになります。	

(6) 多摩金融史関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画			計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間		
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、15回目まで掲載してきました。 武蔵野支店の地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析をさらに進めています。	100

(7) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自主・共催	実施期間		
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。また、 「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自 治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』などで告知します。	200
2	『多摩のあゆみ』連載の デジタルアーカイブ化	自主	通年	『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像や、PDF本文を、毎号デジタル アーカイブで公開していきます。	500

収益事業

1. 物品販売事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(予算額 460 千円)

(1) 物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画 事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事 業 名	自 主・共 催	実 施 期 間		
1	物品販売事業	自主	通年	たましん歴史・美術館で、オリジナルの絵はがきを販売します。 たましん美術館のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種雑貨等の委託販売を行います。	460

令和 3 年度

収支予算書

公益財団法人たましん地域文化財団

令和3年度収支予算書(正味財産増減ベース)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

(単位:円)

科 目	令和3年度 予算額(イ)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業等会計		法人会計	令和2年度 予算額(ロ)	増減 (イ)ー(ロ)
		公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0
基本財産運用益	4,600,000			4,600,000	4,600,000		0	0	4,600,000	0
特定資産運用益	10,000	0	0	10,000	10,000	0	0	0	10,000	0
特定資産運用益	10,000			10,000	10,000		0	0	10,000	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0			0	0	0	0	0	0
事業収益	4,280,000	3,630,000	50,000	0	3,680,000	600,000	600,000	0	6,700,000	△ 2,420,000
入館料収益	3,530,000	3,530,000			3,530,000		0		3,550,000	△ 20,000
図録販売収益	100,000	100,000			100,000		0		100,000	0
出版事業収益	50,000		50,000		50,000		0		50,000	0
物品販売収益	600,000				0	600,000	600,000		3,000,000	△ 2,400,000
受取補助金									4,820,000	
受取寄付金	78,880,000	18,500,000	0	56,500,000	75,000,000	190,000	190,000	3,690,000	65,000,000	13,880,000
受取寄付金	78,880,000	18,500,000		56,500,000	75,000,000	190,000	190,000	3,690,000	65,000,000	13,880,000
雑収益	780,000	200,000	440,000	40,000	680,000	0	0	100,000	140,000	640,000
雑収益	780,000	200,000	440,000	40,000	680,000		0	100,000	140,000	640,000
経常収益計(A)	88,550,000	22,330,000	490,000	61,150,000	83,970,000	790,000	790,000	3,790,000	81,270,000	7,280,000
(2) 経常費用										
事業費/管理費(法人会計)	89,280,000	55,840,000	28,440,000	0	84,280,000	710,000	710,000	4,290,000	83,540,000	5,740,000
売上原価	140,000	70,000	40,000	0	110,000	30,000	30,000	0	210,000	△ 70,000
役員報酬	600,000	0	0	0	0	0	0	600,000	600,000	0
給料手当	24,560,000	15,330,000	9,230,000	0	24,560,000	0	0	0	23,170,000	1,390,000
臨時雇賃金	4,180,000	2,020,000	2,160,000	0	4,180,000	0	0	0	7,000,000	△ 2,820,000
賞与引当金繰入	1,440,000	970,000	470,000	0	1,440,000	0	0	0	1,540,000	△ 100,000
退職給付費用	500,000	210,000	290,000	0	500,000	0	0	0	550,000	△ 50,000
法定福利費	3,990,000	2,380,000	1,530,000	0	3,910,000	0	0	80,000	4,200,000	△ 210,000
福利厚生費	260,000	140,000	80,000	0	220,000	0	0	40,000	280,000	△ 20,000
旅費交通費	1,360,000	910,000	350,000	0	1,260,000	0	0	100,000	1,620,000	△ 260,000
通信運搬費	3,870,000	1,510,000	1,820,000	0	3,330,000	20,000	20,000	520,000	3,530,000	340,000
減価償却費	710,000	420,000	50,000	0	470,000	0	0	240,000	780,000	△ 70,000
消耗什器備品費	40,000	0	0	0	0	20,000	20,000	20,000	330,000	△ 290,000
消耗品費	1,340,000	710,000	390,000	0	1,100,000	30,000	30,000	210,000	1,450,000	△ 110,000
修繕費	110,000	90,000	20,000	0	110,000	0	0	0	120,000	△ 10,000
印刷製本費	11,060,000	2,940,000	8,050,000	0	10,990,000	20,000	20,000	50,000	11,900,000	△ 840,000
燃料費	60,000	30,000	20,000	0	50,000	0	0	10,000	60,000	0
光熱水料費	1,230,000	940,000	210,000	0	1,150,000	0	0	80,000	2,240,000	△ 1,010,000
賃借料	20,250,000	19,380,000	250,000	0	19,630,000	200,000	200,000	420,000	2,210,000	18,040,000
保険料	1,090,000	940,000	20,000	0	960,000	0	0	130,000	970,000	120,000
諸謝金	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	0	0	0	1,180,000	△ 180,000
保守管理費	3,000,000	2,680,000	210,000	0	2,890,000	20,000	20,000	90,000	2,020,000	980,000
会議費	510,000	80,000	80,000	0	160,000	0	0	350,000	560,000	△ 50,000
支払負担金	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0
図書費	300,000	90,000	200,000	0	290,000	0	0	10,000	300,000	0
委託費	6,360,000	3,780,000	1,740,000	0	5,520,000	20,000	20,000	820,000	14,640,000	△ 8,280,000
研修費	80,000	30,000	20,000	0	50,000	0	0	30,000	80,000	0
宣伝費	10,000	10,000	0	0	10,000	0	0	0	200,000	△ 190,000
仕入費	350,000	0	0	0	0	350,000	350,000	0	800,000	△ 450,000
諸会費	630,000	60,000	200,000	0	260,000	0	0	370,000	650,000	△ 20,000
交際費	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	200,000	△ 100,000
租税公課	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0
雑費	40,000	20,000	10,000	0	30,000	0	0	10,000	40,000	0
経常費用計(B)	89,280,000	55,840,000	28,440,000	0	84,280,000	710,000	710,000	4,290,000	83,540,000	5,740,000
当期経常増減の部(A)-(B)	△ 730,000	△ 33,510,000	△ 27,950,000	61,150,000	△ 310,000	80,000	80,000	△ 500,000	△ 2,270,000	1,540,000
2. 経常外増減の部	0									0
(1) 経常外収益	0									0
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0									0
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減の部(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	22,053	22,053	△ 22,0				